

お知らせ

10月1日は浄化槽の日

▶申し込み・問い合わせ 水処理課 ☎72-5667

浄化槽は、家庭から出る生活雑排水やし尿を処理し、きれいな水を河川や水路に放流するための施設です。各家庭に設置されている浄化槽の機能を正常に維持するためには、定期的な点検や清掃などが欠かせません。

市では「水と緑の美しいまちづくり事業」として、浄化槽法で義務づけられている下記の3項目に係る経費の一部を助成しています。

①保守点検

浄化槽の装置が正しく働いているかどうかを点検し、清掃の時期の判定や消毒剤の補充を行います。4カ月に1回以上、受けましょう。

②清掃

浄化槽内の汚泥などの引き抜きや装置の洗浄を行います。1年に1回以上、行わなければなりません。

③法定検査

浄化槽の処理水の水質を検査し、機能が正常かどうかを確認します。設置後3カ月を経過して5カ月以内に受ける7条検査と、その後1年に1回受ける11条検査があります。検査は、県の指定検査機関である公益社団法人香川県浄化槽協会が行います。

合併処理浄化槽維持管理費補助金

対象者

市内に設置されている専用住宅の合併処理浄化槽（20人槽以下）に対して、保守点検、清掃、11条検査を同一年度（平成25年度または26年度）に実施した人

補助金額 30,000円

必要書類

- ・補助金交付申請書
- ・保守点検、清掃、11条検査の領収書
- ・11条検査結果書の写し（不適正でないもの）

※25年度実施分は平成27年3月31日締切り

提出先 水処理課、環境衛生課、各支所

集落排水施設の世帯人数の変更はありませんか？

集落排水施設の月額使用料は、基本使用料と世帯人数により定められています。

世帯人数に変更があったときは、使用人員変更届が必要です。印鑑を持って水処理課、環境衛生課、各支所で手続きをしてください。

なお、集落排水施設が設置されているのは高瀬町（上高瀬第一地区）、三野町（大見地区）、詫間町（大浜、潟満、上新田地区）、仁尾町（北草木地区）です。

シンボルマークは、生命力をイメージしたグリーンのグラデーションとやわらかな曲線



私もスタッフとして頑張るなっす！

えいこうナース

はじめまして えいこうナースなっす！

永康病院では相談窓口を設け、心のこもった安心できる医療や看護、介護を提供できるよう取り組んでいます。

この度、病院のシンボルマークとキャラクターが決定しました。

シンボルマークには、地域に根差した、いつまでも愛される病院であるようにとの思いがこめられています。キャラクターには、おいしくてヘルシーな三豊ナスがナースに。皆さんが健康で、笑顔で過ごせるよう見守ってくれます。

募集

オリジナルナンバープレートのデザインを募集します

▶申し込み・問い合わせ 総務課 ☎73-3000

市の一体感を育み、地域の活性化につなげるため、原動機付き自転車のオリジナルナンバープレートのデザインを募集します。デザインには、市の花であり生産量日本一を誇るマーガレットを、必ず入れてください。どなたでも、1人2作品まで応募できます。



応募方法

総務課、各支所に置いてある応募用紙か、A4の白紙に縦10cm×横20cmでデザインを描き、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、デザインへの思いを明記のうえ、総務課へ郵送または持参してください。

用紙は市ホームページからもダウンロードできます。Eメール（JPEGまたはPDF形式で2MB以内）でも受け付けます。

E-mail soumu@city.mitoyo.kagawa.jp

応募締切り 11月28日（金）午後5時必着

募集

市営墓地の使用者を募集します

▶申し込み・問い合わせ 環境衛生課 ☎73-3007

所在地

詫間中央霊園
詫間町詫間7053番地1

募集区画数

152区画（3.00～7.78㎡）

永代使用料

402,000～722,260円

資格要件

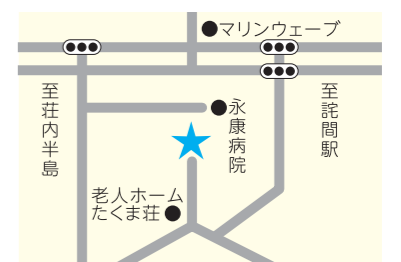
次のいずれかの要件を満たす人

- ①市内に本籍がある人
- ②市内に引き続き1年以上住所を有している人

申請書は環境衛生課、各支所にあります。

市ホームページからもダウンロードできます。

（詫間中央霊園 略地図）



※個人の土地（宅地・農地の一面など）に墓所を設けることはできません

思い出の着物をリフォーム

笠田高校ファッションデザインコースの生徒によるリフォーム講座が開催されました。思い出の着物を持って参加した皆さんは、生徒に教わりながらチュニックなどを作成。そのできばえに思わずニコリ。生徒の皆さんも「地域の人の役に立ててうれしい」と笑顔で話してくれました。



9/6 笠田高校

みとよHOT
ほっとNEWS



8/24 香川高专詫間キャンパス

自分で作ったロボットで

今年で8回目となる「みとよロボコン2014」が開催されました。小学生対象のビギナークラス、中学生対象のハイレベルクラスともに6チームが参戦。ビギナーはリモコンで動くロボットを、ハイレベルはプログラムで自動で動くロボットを作り、熱戦を繰り広げました。